

科目名		授業形態	担当教員名	
関係法規		講義	大石 有輔	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
診療放射線技師として業務に従事する際、必要となる診療放射線技師法及び医療法施行規則に係る知識を修得するとともに、放射線・放射性同位元素を取扱う者に求められる関係法令を併せて修得し、放射線防護の意識を高めることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 電離放射線障害防止規則に規定されている内容を理解し、説明できる。 2. 放射性同位元素等規制法に規定されている内容を理解し、説明できる。 3. 医療法施行規則に規定されている内容を理解し、説明できる。 4. 診療放射線技師法に規定されている内容を理解し、説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	第1章 法令の構成と放射線関係法規			
2	第5章（1）診療放射線技師法 法体系、総則、免許			
3	第5章（2）診療放射線技師法 試験、業務等、罰則			
4	第5章（3）診療放射線技師法 まとめ			
5	第2章（1）放射性同位元素等規制法 法の目的・規制対象から施設基準まで			
6	第2章（2）放射性同位元素等規制法 取扱いの基準から事業者の義務等まで			
7	第2章（3）放射性同位元素等規制法 放射線取扱主任者から手続まで			
8	第3章（1）医療法施行規則 法の構成から装置等の定義及び届出まで			
9	第3章（2）医療法施行規則 エックス線装置等の防護から構造設備基準まで			
10	第3章（3）医療法施行規則 管理者の義務から患者の入院制限まで			
11	第3章（4）医療法施行規則 管理区域から取扱者の遵守事項まで			
12	第3章（5）医療法施行規則 エックス線装置等の測定から診療用放射線の安全管理まで			
13	第4章（1）労働法関係法令と放射線防護関係法令の比較 線量限度・放射線診療従事者等の被ばくの防止			
14	まとめ（国家試験過去問）			
15	まとめ（練習問題）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	講義内容の理解度を評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
放射線関係法規概説 ー医療分野も含めてー		川井恵一	通商産業研究社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
放射線技術学シリーズ 放射線安全管理学 改定3版		磯辺 智範 ほか	オーム社	
自由記載				
備考				
授業は教科書に沿って進めます。 筆記試験は、講義した内容から多肢選択及び空欄補充問題として出題します。				